

令和2年度 府立北桑田高等学校 学校経営計画（スクールのマネジメントプラン）（**計画段階**・実施段階）

学校経営方針（中期経営目標）	前年度の成果と課題	本年度学校経営の重点（短期経営目標）
<p>1 時勢の変化と教育に対する社会的ニーズの推移に対応した、特色ある教育の創出</p> <p>2 基礎学力を身につけるとともに、進路目標に応じた学力・能力を身につけ、自らを高め、将来を切り拓いていくことができる生徒の育成</p> <p>3 郷土の自然や文化に学び、前向きに地域社会とかわり、貢献しようとする姿勢を持つことのできる生徒の育成</p>	<p>1 学校活性化の具現化を進め、生徒・保護者や地域のニーズと期待に応える目標を掲げ、教育活動を推進した。本校の特色を活かした教育課程、学科編成を検討することができた。今後、新学習指導要領や新たな取組に向けた迅速な対応が必要である。</p> <p>2 専門学科の受験者数が増加した一方、普通科は前期選抜A2方式を拡大したが、生徒数確保にはつながらなかった。普通科の特色をより明確にし、生徒数確保に取り組んでいくことが大切である。</p> <p>3 少人数の特色を活かした丁寧な個別指導の実施等、学力・能力の向上を図った。今後も少人数のメリットを生かし、進路を切り開き生きる力を養う教育を推進する。</p> <p>4 個別指導、予備校サテライト講座の実施、英語スピーチコンテストの実施など本稿独自の学習システムを推進し、学力向上や進路実現への対応を進めた。今後も、高大接続改革や新たな入試制度に向けたより具体的な指導を進めることが大切である。</p> <p>5 地域創生推進校として地域と連携し、地域に開かれた取り組みを積極的に行い、地域からも高い評価を得た。今後も小・中学校との学校間連携を一層進めることが大切である。</p>	<p>1 学校活性化構想の具現化を更に進め、地域・生徒保護者のニーズと期待に応える教育活動を推進する。</p> <p>2 学科改編と全国募集開始に際して、さらなる教育内容の工夫、環境の整備、特に寮の新築に向けた動きを推進する。</p> <p>3 多様な生徒の実態に応じ、学ぶ姿勢の確立や基礎学力の定着を図るとともに、進路実現のための学力・能力の向上を推進し、生徒が学びの満足感や自己肯定感を高められる学校づくりを行う。</p> <p>4 生徒の進路実現、進学実績の向上をめざし、主体的・能動的な学びに導く、質の高い教科指導を組織的に展開する。また、新学習指導要領、高大接続改革、新たな大学入試制度への対応を迅速・的確に行う。</p> <p>5 小中学校との連携を進め、学科や部活動など学校の特色をより明確にし、積極的な情報発信や、組織的、効果的な生徒募集を行う。</p> <p>6 「地域創生推進校」として、地域と連携し、地域に信頼され、地域の活性化に貢献できる取組を推進する。</p> <p>7 部活動のあり方について検討を重ね、更なる特色化、活性化を進める</p>

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
組織運営	学校活性化の推進	新学科「京都福祉科」の教育内容の充実 全国募集に係る校内体制及び制度の拡充 普通科の教育内容の精選と刷新		
	「チーム北桑田」としての組織的で効率的な学校運営	部長会議を中心とした各種会議の効果的な運営 分掌間、教科間、学科間等、教職員間の連携強化		
	働き方改革の推進	効率的な校務運営による勤務時間の縮減		
	教職員の資質能力の向上	校内研修の充実及び校外研修への参加促進 探究心旺盛で、学び合う教職員集団づくり 地域や大学等との連携促進		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
教育課程の編成と実施	京都フォレスト科・森林リサーチ科、普通科共に、魅力のある、期待される3年間となる教育課程の編成と実施	本年度の学校経営計画重点3に応じたかたちで、令和4年度学習指導要領改訂に即した教育課程の編成		
学習指導	学習指導に関する授業評価アンケートにおいて肯定的な意見、80%	教師が生徒と共有する時間の確保のために、会議の精選・教育環境の整備・教育計画の工夫と実現 生徒の知的好奇心をくすぐる授業改善と家庭学習の習慣化を両輪とした学力伸長		
人権教育	生徒の人権意識の向上 分掌、特に学年との連携を密にする 教職員研修の充実	生徒の実態に即した人権教育の実施と人権尊重の意識や差別を許さない態度の育成 各学年の課題に対する適切な対応 教職員の世代交代を踏まえ、これまでの人権教育の成果と課題を引き継ぐ取組の推進		
進路指導	生徒の希望進路実現をめざし、3年間を見通した進路指導を推進し、進路意識を喚起して自ら進路を切り拓く力を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・担任団、各教科と連携し、生徒一人ひとりの適性・能力を的確に把握し、希望進路の実現に向けた学力・能力の向上を図る。 ・進学講習、サテライト講座、学習クラウドシステム、模擬試験等を活用し、学ぶ姿勢の確立や基礎学力の定着を図る。 ・高大接続改革、新たな大学入試制度への迅速的確な対応 ・保護者向け進路講演会、進路説明会、学校見学会などを適切な時期に実施し、保護者への情報提供の充実を図る。 		
生徒指導	基本的な生活習慣の確立と規範意識・社会性の養成 安全教育の徹底	「挨拶」「正しい言葉遣い」「身だしなみを整える」等当たり前のことが当たり前にできるようにする 規則違反やマナー違反・不正を許さず安心して安全な学校生活の推進 家庭・関係機関と連携した問題行動の未然防止と全教職員の一致した指導 PTAや地域・関係機関と連携し日常生活全般における安全確保に努める		
特別活動	生徒会活動と部活動の充実	学校祭や行事だけでなく日常の学校生活でも生徒会が主体的に活動できるようにする 生徒数などに対応した部活動のあり方を考え、更なる活性化を進める。		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
健康・安全 教育	保健管理、保健教育の充実	<ul style="list-style-type: none"> 各種健診結果に基づく細かな指導と、保護者連携のもと、必要な生徒の医療機関への受診率を向上する。 委員会活動を充実することにより、日常の健康管理や環境美化の意識を向上させる。 生徒の状況を鑑み、保健学習の実施を通して、自己を取り巻く情勢の理解や正しい言動についての考察をさせる。 		
	特別な支援を要する生徒への指導・支援の工夫と充実	<ul style="list-style-type: none"> 教職員研修実施するとともに、学年・分掌・教科等との連携を密にし、生徒の状況の把握、共通理解のもと、合理的配慮に基づく指導を実施する。 		
道徳教育	規律・規範を重んじる姿勢の養成	<ul style="list-style-type: none"> 規則や、公共の場におけるマナーを守る態度の育成 		
	愛情を持って人に接する人間性の養成	<ul style="list-style-type: none"> 各教科や各分掌との連携を図り、人間として望ましい在り方について考える姿勢の育成 		
家庭・地域 との連携 (PTA)	保護者・地域との連携のより一層の強化	<ul style="list-style-type: none"> 地域から注目され、信頼を得られる「地域創生推進校」を目指し、地域やPTAと連携した魅力ある学校づくりを行う。 		
	地域への積極的な広報活動の展開	<ul style="list-style-type: none"> 「KITAKUWADA STYLE」・「PTAだより」・HP更新・PTAメール等の広報発信をタイムリーに行い、「みがく、かがやく。」の実践を発信する。 		
活性化推進	学校活性化構想に基づいて展開する内容の記録と広報	<ul style="list-style-type: none"> 令和2年度に展開する特色ある教育活動と生き生きとした生徒の表情を記録し、学校案内、広報誌、HPを活用して地域社会に発信する。 		
	令和3年度入学生の定員充足率75%、美山中学校・京都京北小中学校からの進学率80%達成	<ul style="list-style-type: none"> 学校説明会、中学校訪問、個別進路相談、広報物の発行を組織的、計画的、効果的、効率的に行い、進路指導の一助となる情報提供を行う。 		
学校図書館	学校図書館の活用によって、図書・電子資料の適切な活用力の醸成、豊かな読書生活への助長	<ul style="list-style-type: none"> 必要に応じた資料提供ならびに文献検索の推進 電子資料の適切な利用促進 読書活動の推進・読解力向上のための読書推進 		
	地域文化の資料・情報収集に努め、地域活性化への貢献を図る	<ul style="list-style-type: none"> 地域の特色である、樹木・木材・林業に関わる資料の収集・展示 		
農場部	効率的・効果的な農場運営	<ul style="list-style-type: none"> 農業クラブ活動・各種の研修会への参加や資格取得の奨励及び技術向上の推進 安全管理能力を高め、安心・安全な実習環境の推進 農場部の効率的・効果的な運営の実施し、計画的な収益につなげる 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
寮務部	円滑な寮生活を送るための、規則・ルールの徹底	・寮生徒との対話を充実させた愛情ある指導の推進と、規則厳守させるためのきめ細かな生活指導の徹底		
	生活環境の維持及び施設の充実	・施設・設備の点検、改善による環境整備の充実		
事務部	生徒・教職員が安心できる教育環境づくり	老朽施設・設備の点検、改修の実施 寄宿舎設備の更なる充実 美山分校との情報共有		
第1学年	適切な生活習慣の確立と規範意識の育成	服装・挨拶・言葉使いなど、高校生としてのふさわしい態度、および自己と他者の双方を尊重する規範意識の育成。		
	学習指導の充実と自主活動への積極的参加	・家庭学習習慣の定着と、基礎学力の向上。 ・部活動への積極的加入の促進。 ・支援を要する生徒への適正な支援。		
第2学年	学習環境の充実と改善	・日々の授業内容を充実による基礎学力の向上 ・自己実現に向けた、進路開拓に必要とする力の養成		
	社会人基礎力の向上	・学校行事等を通じた仲間意識の向上、リーダーシップや協調性の伸張 ・自身の行動に対する責任と自覚、自己肯定感の醸成		
第3学年	希望進路実現に向けた指導の充実	・日々の授業を基本として、家庭学習、平常補習、サテライト学習等を積極的に活用し、確かな学力の育成 ・担任、保護者、進路部との連携を深め、生徒個々に応じた適切な進路指導の推進		
	社会生活を意識した生きる力の育成	・日常から規律や規範の意識を高め、人間性・社会性を磨き、社会で必要とされる人物の育成 ・学校行事等を通して、自他を尊重し、他人を思いやる心の育成		

【 教 科 】

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
国語科	学習習慣を確立させ、基礎学力の定着を図る	<ul style="list-style-type: none"> 漢字、語彙などの、読解力を支える基礎的言語事項の学習の充実 計画的、継続的な小テストや課題への取り組みを通じた、主体的な学習への取り組みに向けた指導 学習規律の確立と、生徒が興味関心を持てる授業づくりの工夫 		
	実生活で生きてはたらく論理的思考と表現力の育成と希望進路実現の支援	<ul style="list-style-type: none"> 新学習指導要領に応じた効果的な言語活動を通じての、思考力と表現力の育成 新テストの記述問題や小論文、面接等を想定した、書くことと話すことの指導の強化 新テストも想定した多様な文章について、精読や演習を通じた読解力、進路実現に向けた実践力の養成 		
地歴・公民科	歴史、地理、公民各科目において、現代社会とのつながりを意識した授業展開を行い、主権者としての意識高揚をはかる。	<ul style="list-style-type: none"> 「教科書をじっくり読んで、アンダーライン」「板書を写すだけでなく、メモの追記」を徹底し、社会の仕組みに関する知識理解を深化させる。 主題を設定し、情報を調べたり、まとめたり、表現する学習活動を通して、賛否が分かれる社会事象について最善解を考える授業展開を行う。 各公益団体が主催する公民分野の小論文コンクールに積極的に応募し、上位入選を目指す。 		
数学科	コースに応じた授業展開で基礎力、応用力を育成し、新たな大学入試制度への対応を図り、希望進路実現へと導く	<ul style="list-style-type: none"> 多様な生徒の実態に応じ、放課後等の適切な補充指導の実施 定期的な課題提出、小テストの実施による基礎学力の定着 進路希望に合わせた応用力の充実を推進 予備校サテライト講座と併せて進学補習の充実 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
理科	基礎学力定着のための学び直しの充実及び全ての生徒がわかる授業に向けた工夫	各分野の特性、生徒の状況に応じて高等学校以前の知識を復習し、基礎学力の定着・向上を目指す。全ての生徒がわかる授業のために、板書やプリント作成の工夫、実験の説明に動画を取り入れる。		
	基礎学力定着および興味関心を引き出す授業の工夫に加え、科学的思考力や判断力、表現力を養う授業の工夫、それによる新入試への対応	演習・小テストの適切なタイミングでの実施や、ICT教材の効果的な使用により、生徒の学習意欲を向上させ、基礎学力の定着を図り、興味関心を引き出す。 計画的な実験・観察、問題演習の実施により、科学的思考力や判断力、表現力を養い、これらの力を新入試へ応用できるよう指導する。		
保健体育科	基礎体力・運動技能の向上と健康の保持増進を図る	規律ある効率的で個々に応じた授業展開により体力と運動技能を向上する 保健の授業で調べ学習等を通して自他や社会の課題を発見し、健康のために適切な方法を選択・決定できるようにする		
	主体的・対話的で深い学びの視点に立った授業を行い、運動の楽しさや喜びを味わうと共に、公正、協力、責任や健康、安全に留意する態度を身につけさせる	仲間と協調し、対話的に行うことで公正、協力、安全に対する態度や運動の楽しさを味わう グループ学習で主体的・対話的に取り組むことによるリーダーシップ・フォロワーシップの育成 健康運動では地域の資源を活用するとともに新しいスポーツにも積極的に挑戦する		
芸術科	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・芸術表現の基本技術の習得 ・芸術作品の基本的な鑑賞力の育成 ・芸術を愛好する気持ちの育成 ・一人一人と向き合い、創造力や感性を育むゆとりある年間指導計画 		
英語科	基礎学力の定着と進路実現に向け、新しい大学入試に対応できる実践力の育成	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎学力の向上をめざし、「予習⇒授業⇒復習」の学習サイクルを習得できるような指導や定期的な小テストの実施 ・新入試に対応できる実践力の育成に向けた予備校サテライトの効果的な活用や進学補習の実施 		
	「読むこと」や「書くこと」に加え、「聞くこと」や「話すこと」の指導を充実させることによる4技能の総合的な育成	<ul style="list-style-type: none"> ・英語を運用する機会を増加させることを目的とした、ALTの積極的な活用 ・4技能を測定可能な実用英語技能検定やGTECを校内で実施し、CEFRレベルA2以上の資格（英検準2級以上）やスコア（GTEC スコア690以上）の取得に向けた指導の推進 		

評価領域	重点目標	具体的方策	評価	成果と課題
家庭科	自立・共生する力を育み、様々な人々と協働し豊かに生きる生活者の育成	<ul style="list-style-type: none"> 自らの生活と世の中の動きを関連付けて捉え、生活者として主体的に生きるのに必要な知識・技術の指導 地域との連携や様々な事業の活用による主体的かつ実践的な学習機会の多くの設定 生活の中の課題解決の力の育成 		
	分かりやすく生活に役立つ授業の工夫	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の実態やニーズを把握し、効果的な授業の進め方や教材の工夫を実施（実習グループワークの充実、視聴覚教材の活用） 		
情報科	魅力ある教材の作成	<ul style="list-style-type: none"> 生徒に応じた教材の選定（研修旅行事前学習・本の紹介プレゼンテーションなど） 		
	情報の科学的理解	<ul style="list-style-type: none"> 情報モラルやセキュリティ、最新機器に関することの実際の事例による理解の深化 		
農業科	学習意欲の喚起と授業規律の確立をの生きる力につなげる指導	<ul style="list-style-type: none"> 個々に応じた丁寧な授業、最後までやり切らせる指導、質の高い学習活動の実施 学科の特色を活かした地域や大学との連携促進 授業規律の指導強化・社会人マナーの養成 放課後の進路指導・資格補講の充実。 		
総合的な探究の時間	第一学年 地域社会の課題を自らの課題として捉え、周りとは協力しながら最善解を求めていく体験をさせる。また、実生活で体験した内容などを英語で表現する実用的な力を養う。	<ul style="list-style-type: none"> 第1学期（知識理解）、第2学期（体験）第3学期（地域社会に関する論文作成及び論旨発表）という授業計画を再構築する。 体験を通して感じたことを英語で表現する。 自分が体験したことや、感じたことをスピーチコンテストで発表する。 		
	第二学年 英語という言語ツールを活用して、北桑田地域の自然、文化、産業について身の回りの事を表現する力を伸長する。	<ul style="list-style-type: none"> A L T を積極的に活用し、日々の生活を英語で表現して発表する。また、相互に英語で質疑応答し理解を深める。また、英語による調べたことをプレゼンする機会を設定する。 		
総合的な学習の時間	第三学年 地域社会に生きる一人の人間としての自覚を高め、地域の魅力を発信することによってコミュニケーション能力や情報を取捨選択してまとめる力、表現力の育成をめざす	<ul style="list-style-type: none"> 地域に発信、提案するプランを作成する事で学習への意欲を向上させる。 実際にプレゼンテーションをすることによる、表現力の向上 		